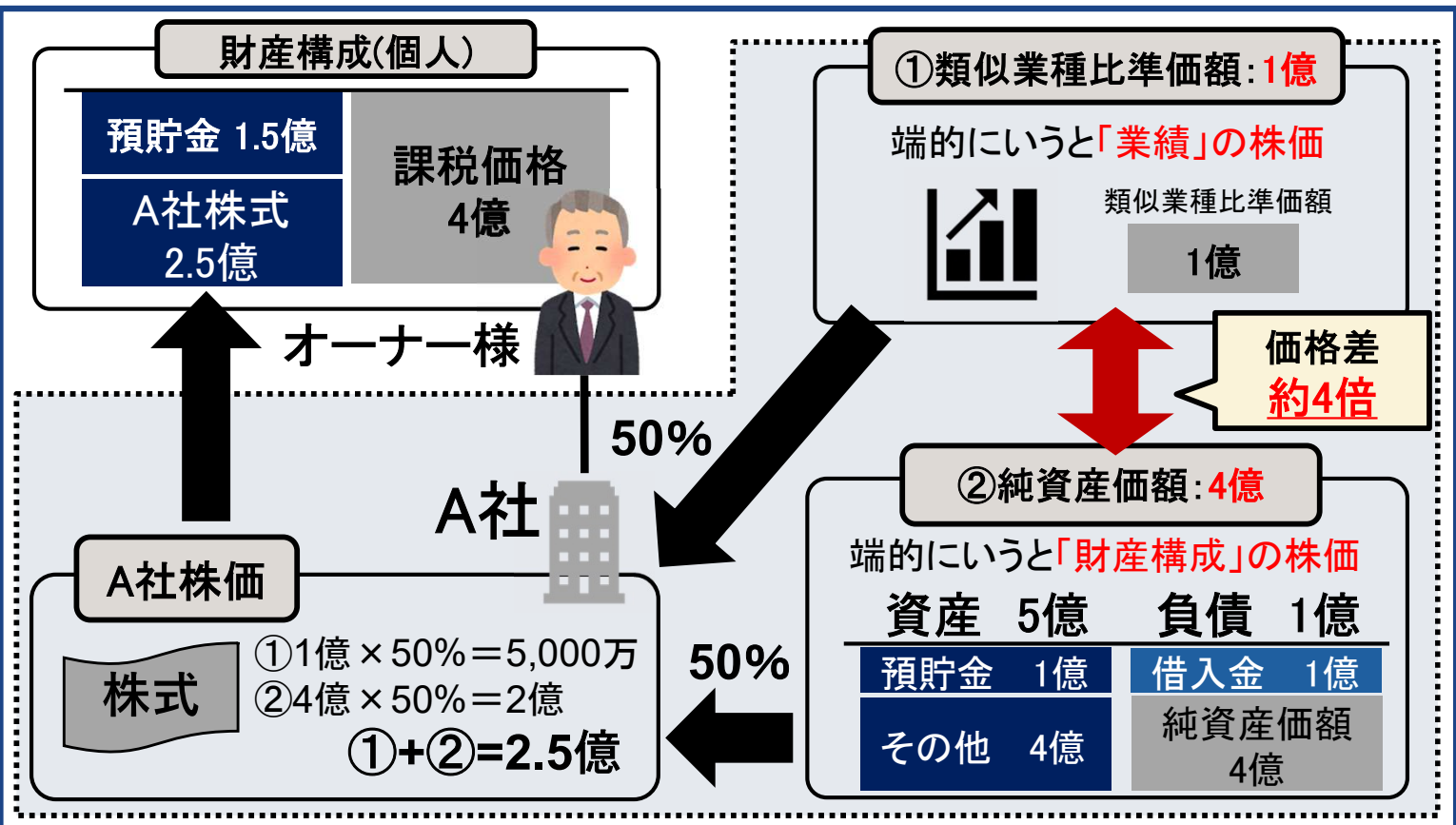


同族会社の株価が増加の方向で見直しへ

同族会社の株価が増加の方向で見直しとなるようです（2028年1月から適用予定）。同族会社の株価は①類似業種比準価額、②純資産価額の2要素によって概ね決定されますが、①が②と比較して低すぎることが問題視されているようです。

会計検査院によると①と②の価格差は約4倍程度とされており、今後は当該価格差の解消を前提とし、評価の議論が重ねられるようです。



現行の税制では会社規模が上昇するほど株価に対する①の割合が増加傾向のため、作爲的に会社規模を上昇させ、株価を減少させるケースが散見されたことが見直しの基
因となっているようです（同じ①と②で会社規模別の株価イメージは下表を参照）。
見直しにより株価が増加した場合、より対策が求められるのかもしれませんね。

上図
事例

株価種別	大会社		中会社の大		中会社の中		中会社の小		小会社	
	比準割合	株価	比準割合	株価	比準割合	株価	比準割合	株価	比準割合	株価
①類似業種比準価額	100%	1億 +	90%	9,000万 +	75%	7,500万 +	60%	6,000万 +	50%	5,000万 +
②純資産価額	0%	0 	10%	4,000万 	25%	1億 	40%	1.6億 	50%	2億
株価		1億		1.3億		1.75億		2.2億		2.5億



こんにちは！桜の時期も過ぎ去り、気候も少し汗ばむくらいとなりましたがいかがお過ごしでしょうか。私は確定申告後の気の緩みをようやく立て直せつつあるところでしたが、迫るゴールデンウィークで再び気が緩みつつあることに何とか正気を保とうとする毎日です笑 みなさん、ゴールデンウィークはどのように過ごされますでしょうか？今年は有休を組み合わせればある程度の長期休暇となるため、楽しみにされている方も多いかと思います。旅行やレジャーなど様々かと思いますが、楽しい時間を過ごしたいですね。